

NECがおすすめする Windows.

“かけがわ型スキル”育成に、ICTを効果的に活用

掛川市教育委員会 様

1人1台のWindowsタブレットと電子黒板の活用により、
学習意欲を高め、理解が深まる授業を展開



「かけがわ型スキル」の育成を目指し、授業内容に合わせてICT機器を活用。

掛川市教育委員会では、21世紀に生きる力「かけがわ型スキル」育成のため、指定研究校2校で実証研究を開始。PC教室はWindowsタブレット「VersaPro タイプVZ」で更新し、普通教室へはWindowsタブレット「VersaPro タイプVT」と電子黒板「BrainBoard」を設置。電子黒板や1人1台のWindowsタブレットを活用して、学習意欲の向上を図るとともに、効果的な協働学習を展開する授業研究を行っています。

授業実践をとおして「かけがわ型スキル」を育成する新たな学びを提案



掛川市教育委員会
指導主事*
柴田 勝明 様

2014年6月、普通教室でもICT活用の環境が整い、実証研究が始まりました。柴田氏は、効果と期待を次のように語ります。「一番の効果は、子どもたちの目の輝きが違い、学習意欲が高まったこと。手軽にICTが使えるようになったことで、先生方の意識も変わりました。子どもたちの理解の深まりを実感でき、普段の授業の中でも積極的にICTを活用する先生方が増えました。

ICTは、必要なとき、必要なものを、必要なだけ活用するという考え方で、分かる授業を目標とした授業改善に取り組み、特に子どもたちによるICT活用を中心に、タブレットを活用した協働学習のあり方まで、研究を進めていきます。

実証研究を通じて“かけがわ型スキル”を育成する授業はどんな授業か、具体的な授業実践をとおして新たな学びによる

授業を提案していければ良いと考えています。」

倉真小学校、大須賀中学校の小・中各1校が研究校に指定され、1人1台のWindowsタブレット環境とPC内蔵電子黒板を整備し、2年間の実証研究に取り組んでいます。



学年と教科内容に応じてICT機器を利用し、協働学習の効果を実感

倉真小学校での授業実践

倉真小学校では、情報センターと呼ばれる、図書室とPC教室が一緒になった教室にVersaPro タイプVZを15台、普通教室にPC内蔵電子黒板1台が設置されています。電子黒板を使った協働学習でのICT活用が進む倉真小学校の授業実践について、5学年担当の三澤先生はこう語ります。

「電子黒板は大きくきれいに映せ、視覚に訴えることができます。算数では子どもが書いたノートや作図を、図工ではねんどで作った作品を電子黒板に提示しました。みんなで同じものを見て説明を行うことで、子どもたちの理解を深めるとともに、理解したい、発表したい子どもたちの学習意欲向上に効

果をあげています。今後は子どもたちがWindowsタブレットで共に学びあう協働学習にも取り組んでいきたいです。また、教員はデジタルの良さを活かし分かったこと、分からないことを分析し、よりわかりやすい授業を実践していきたいと考えています。」(三澤先生)



掛川市立倉真小学校
5学年担任・研修主任*
三澤 佐知与 教諭

私自身、機械が苦手で不安でした。得意な先生方、NEC、ICT支援員の協力で教師間の学ぶ機会を増やし、ICT機器への苦手意識をなくす努力をしています。今では、子どもたちが意欲的に学ぶ姿をエネルギーとし、授業のいろいろな場面で活用することで、分かりやすく、学び合いや思考力を深められる授業を実践していこうと考えています。



表示させた資料にそのまま書き込みを行いながら説明できるので、子どもの集中力が途切れることなく授業を進められます。

1人1台のタブレットを活用し、学習意欲向上を図る

大須賀中学校での授業実践

大須賀中学校では、PC教室にVersaPro タイプVZ 35台、普通教室に40台のWindowsタブレットと電子黒板が設置されています。1人1台のWindowsタブレットを中心としたICT活用が進む大須賀中学校の授業実践について森下先生はこう語ります。

「数学科では、今まで紙のワークシートを配付していましたが、今はタブレットにそのまま配信し、生徒がタブレットに書き込み、それを回収することで時間短縮を実現しています。書いたり消したりが自由なので、何か少しでも書いてみようと思える姿勢がみられるようになりデジタルのよさが活かされていると感じています。」

また、ご自身が担当される音楽科では「デジタル教材を使って、これまで難しかった“目で見える楽譜と耳で聞くメロディー”を“視覚と聴覚”で手軽に同時に鑑賞できるようになりました。楽曲への理解が深まったと感じています。今後は歌やアンサンブル制作の過程をWindowsタブレットで記録し、改善や振り返りをWindowsタブレット、電子黒板を使って行うことで、表現の工夫や、自信と意欲につなげる活動を考えています。」(森下先生)



■工夫のある解答を電子黒板に投影し、生徒に説明させることで、すじ道を立てて説明する力を培います。

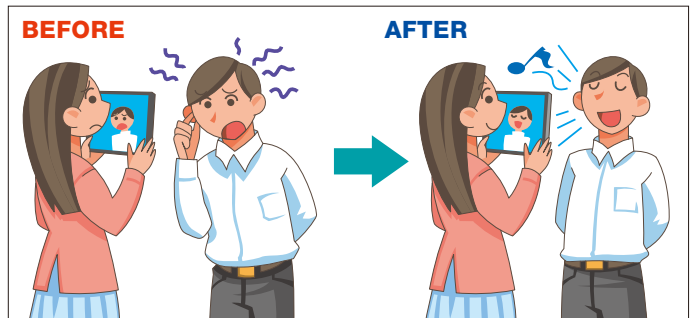


■1人1台のWindowsタブレットで各自が課題を実習後、相互に内容話し合っ確認することで論理的思考力を育成します。



掛川市立大須賀中学校
音楽科・研修主任
森下 華代 教諭

教職員は、Windows タブレットの特徴や働き、利点について全く分からないところからのスタートでした。校内研修では、使い方の説明から、利点の話し合いをしました。また、職員室では、教職員で相談しながら、一つひとつ課題を解決しています。生徒にもICTを活用した、問題解決に取り組める授業を展開したいと考えています。



■歌やアンサンブルの過程を記録。改善や振り返りを行うことで、表現の工夫や自信と意欲につなげていきます。

*所属および役職は2014年度現在

導入事例について詳しくはこちら → <http://jpn.nec.com/bpc/school-ict/> の「導入事例」をクリック

お客様紹介

● 掛川市教育委員会 様

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/life/kosodate/kyoikuiinkai/>

平成26年度の掛川市教育振興基本計画(後期)で制定された、「夢実現に向かう、心豊かで凜(りん)とした市民」の育成に加え、「かけがわ学力向上ものかたり」を策定し、「かけがわ型スキル」の育成によって、これからのグローバル社会を担う子どもたちに求められる能力の開発に取り組んでいます。

● 掛川市立倉真小学校 様

<http://www.kakegawa-net.jp/ed/kurami/>

開校が明治5年創立と掛川市で最も古く開設された小学校です。平成23年度から、学校教育目標を「かがやく子」としています。その「かがやく」とは、やったことに自信をもつ「かがやく」、自分から踏み出す「かがやく」、自分のよさを自信をもって示せる「かがやく」、競い合い仲間と共に高め合う「かがやく」等を目指しています。

● 掛川市立大須賀中学校 様

<http://ohsuka.sakura.ne.jp/>

昭和22年開校。校訓の「礼・勇・知(礼を重んじ、勇を持って生き、知を研ぐ)」のもと、学校教育目標として「誇りを持ち 共に生きる生徒」を掲げ、安全・安心・学力向上を保障する学校を目指して、生徒の育成に取り組んでいます。

* 学校ICT

ICT(Information and Communication Technology)とは、情報や通信に関する技術の総称で、国内では主に公共事業の分野において多く使われる用語です。学校教育において、パソコン・電子黒板・実物投影機・動画映像・プレゼンテーションソフトなどICTを活用することで、グラフや資料を効果的に使用し、授業の理解力の向上と効率化を図ることが期待されています。

小・中学校、それぞれの学習に適したICT活用方法を検証し実践

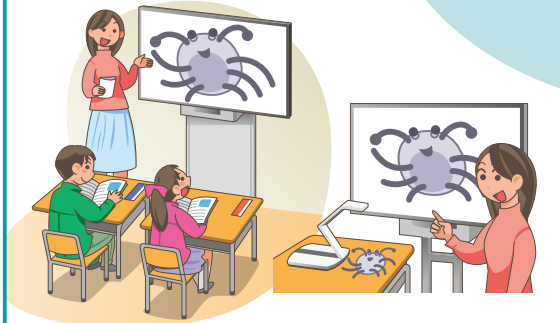
小学生と中学生では、効果的なICT活用方法は異なります。Windowsタブレットや電子黒板をどう活用するか、各学校の先生方は熱心に活用法の開拓に取り組まれました。ゼロからスタートし、研修や堪能な先生のアドバイスを、相互啓発しながら子どもたちの興味や学習意欲を引き出す授業を実践しています。

指定研究校の小学校と中学校に
Windowsタブレットと電子黒板
を配備

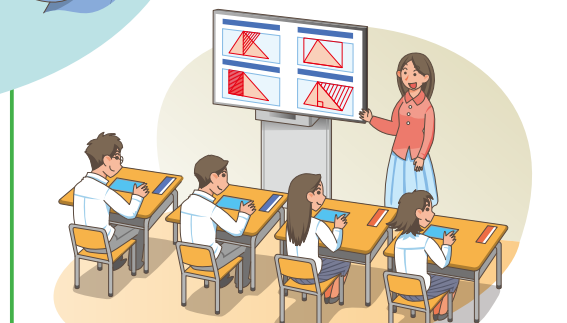


視覚に訴える効果が授業の理解力に
大きく影響

電子データは保存や消去が簡単なので、
とりあえず何かしてみようという意識が向上



小学校：普通教室で電子黒板を活用



中学校：普通教室で1人1台 Windowsタブレット活用

用途に合わせて選べるNECのICT機器

Windows 8 搭載タブレット

Windows 8

VersaPro タイプVZ
見やすい大画面

VersaPro タイプVT
軽量薄型ボディ

電子黒板

タッチパネル内蔵ディスプレイタイプ
Windowsタブレットの運用・操作性を
大画面で実現したPC内蔵電子黒板

65型
46型



12.5型
ワイド



10.1型
ワイド



ボード型組込PC

Windows 8.1
プリインストールモデル

スロットイン
タイプで、
ディスプレイに
内蔵できます

※写真は65型です。

安全に関するご注意

ご使用の際は、商品に添付の取扱説明書の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。水、湿気、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。本商品は24時間以上の長時間連続使用を前提とした設計になっておりません。バッテリーパックは消耗品です。バッテリー駆動時間が短くなった場合は、純正の新しいバッテリーパックと交換してください。

最新情報を下記で提供しています。

お問い合わせ、ご用命は下記の販売店へ

NEC ビジネスPC情報発信サイト

<http://jpn.nec.com/bpc/school-ict/>

●Microsoft、Windows、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面を使用しています。●BrainBoardは、NECディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。●その他本カタログに記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
●本カタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することや供給を停止することがありますのでご了承ください。●本カタログで使用されている商品は、本カタログおよび広告用に撮影したものです。そのため、実際の商品とはデザイン、外觀などで多少異なる場合があります。また、写真は印刷のため、商品の色と多少異なる場合があります。●画面はハモミ合成です。●商品写真の大きさは同比率ではありません。

本カタログに記載の内容は2014年9月現在のものです